

クラブを元気に、世界に奉仕を、みんなで回そうロータリーの輪

Energize our Clubs, and Serve the World, engaging Rotary with Society

前橋北ロータリークラブ会報

第 1612 回

2018 年 8 月 6 日

会 長 亦野 高裕
幹 事 國岡 充朗
会場監督 戸所 委員

例会日 : 毎週月曜日 12:30~
例会場 : 前橋商工会議所 3F

点鐘 亦野会長

国歌斉唱

ロータリーソング 我らの生業

◇出席報告 井上委員長

会員数 73 名、出席者 45 名

出席率 71.42%

◇記念品贈呈

8 月の結婚祝 樋口会員・林智浩会員

8 月の誕生祝 赤澤会員・立見会員・戸所会員

林時江会員・城田会員・塩谷会員

渡邊会員・塚越会員・大澤会員

小曾根会員・松本会員・廣木会員



◇委員会報告

1. 親睦委員 本多副委員長 8 月 27 日(月) 納涼夜間例会

2. ゴルフ部 川口会員 9 月 6 日(木) 軽井沢 72 ゴルフ

3. 野球部 岡崎会員 合同ナイター練習

◇幹事報告 國岡幹事

1. 理事会報告

指名委員会開催、西日本豪雨被害
義捐金、R財団セミナー、前橋プロバス
クラブ総会、納涼例会、地区大会記念
ゴルフ、地区指導者育成セミナー、RI
会長代理晩餐会、地区大会、RYLA
研修会、予算

ニコニコBOX委員会

赤澤達之会員・・・誕生日祝いありがとうございます。

戸所仁治会員・・・誕生日祝いありがとうございます。

塩谷勝利会員・・・誕生日祝いありがとうございます。明日の育英の勝利を願っております。

城田悦也会員・・・誕生日祝いありがとうございます。

廣木晴久会員・・・誕生日祝いありがとうございます。ぞろ目になりました。

塚越正浩会員・・・誕生日祝いありがとうございます。

小曾根要人会員・・・誕生日祝いありがとうございます。

星野美働会員・・・7 月に税務署が来ました。最後に「ここまできちんとできている会社もめずらしいですよ」と

大変褒められました。これからもまじめにやっています。

会長の時間 「前橋空襲」

例年、8月になって夏本番ですが、今年に限っては関東は7月には梅雨が明けています。残暑厳しい中、まだ夏が1カ月も続くのかとちょっと心配でもあります。ただ、私の畑はかなり潤ってキュウリやナスなどの夏野菜が急に収穫量が増えました。夏野菜にはよい環境なのだと思います。

この夏野菜の収穫時期に夏の甲子園が昨日から始まりました。前橋育英高校の試合は明日、三日目の第三試合13時から行われます。私は育英高校が初出場してから、第一試合から欠かさず見に行っていたのですが、今回は明日朝、8時から人間ドックの予定で終わるのが13時半。残念ですが行けません。

この一試合目に勝利すると次の試合は13日の月曜日の第三試合になるのでその時には必ず応援に行こうと思います。

中村理事長は抽選の日から応援に行っていますが、寄付の方はまだまだ受け付けております。理事長が不在だから渡せないではなく、私に渡していただければ確実ににお渡しいたしますので、よろしく願いいたします。

今日は73年前の昨日の8月5日の話をしたいと思います。

73年前の昨日、終戦の10日前、前橋空襲というのがありました。そして8月15日の終戦日には伊勢崎空襲。先輩方は知っている方もいらっしゃると思いますが我々は前橋空襲を知らない世代です。

昨日、今日と新聞に記載があったので私も色々調べたり聞いたりしました。写真では前橋空襲の後に県庁前のカトリック教会だけが残り、あたり一帯は焼け野原になっていました。

前橋空襲においては死者が535名、負傷者が6,000名。被災戸数、市街地では80%の建物が消失。

B29の爆撃機が前橋上空に92機飛来。8月5日の夜10時半から翌日の朝まで大空襲がありました。落ちると燃えてしまう油を積んだ焼夷弾が691トン、爆弾が332トン、落とされたそうです。我々の想像を絶するような世界が広がったのだと思います。

私の母もまだ生きており、よく前橋空襲の話をしてくれました。母がまだ小さかった頃は前橋の南町に住んでいました。空襲の日、うちの母は自分の祖母に連れられ防空壕のある二子山古墳まで逃げたそうです。一緒にいた祖父は家に残り、明日食べる米と釜を背負って二子山まで逃げたそうです。

「なぜ、前橋の人たちがそんなに亡くなったか？」

当時の日本の法律で防火法というのがあり、逃げることなく火を消してから退避しなさいという人命より先に火を消しなさいという法律だったらしく空襲の時も逃げることなくやられたということです。

前橋空襲の前の8月1日ぐらいからアメリカ軍が「我々は一般市民対し攻撃をするのが目的ではないので、ここ数日の間に爆撃をしますので逃げてください。」というようなビラも撒いたそうですが、そのころの日本はビラを見ても逃げず、逃げて近くにあった盛土で作った防空壕。火の勢いが強くみんな亡くなりました。広瀬川にかかっている比刀根橋という所にも一番大きい防空壕があったのですが、そこも焼夷弾が多く落とされ火の勢いが強すぎて中の人が出られなくなり熱で焼け死んでしまったという場所らしいです。

我々もそうですが、戦争のことをだんだん忘れてくる年代になって子供たちも知らない年代、前橋空襲なんて全然わからない年代が多くなってきました。できれば、当時、前橋に住んでいた人たちに講話していただき、その辺の状況を私も聞きたいと思います。前橋もそうですがその当時の日本がどうだったか、靖国神社の遊就館に行きますと戦没者を祀ってありまして、当時の特攻隊だった子供たちの手紙も飾ってありました。本当に今では信じられないような手紙の内容で、特攻して死んでいくのに生きていく母親、妹、弟のことを心配しています。当時の戦争体験者の気持ちも勉強しながら戦争を忘れずに後世に伝えていくのは、我々の仕事だと思いました。

会長の時間に趣味の話をする予定でしたが、73年前の昨日が前橋空襲、そして今日は広島に原爆が投下されたということもありお話をさせていただきました。